令和5年度　　指定管理者　評価報告書

No.	08	評価区分	Ⅰ　文化交流施設、スポーツ施設、環境衛生施設、福祉施設
施設名	飛騨市多機能型障がい者支援センター	所管課	総合福祉課
指定管理者	（特非）飛騨市障がいのある人を支える会	地域名	神岡町

1　施設の概要

施設所在地	飛騨市神岡町山田2059番地
設置目的	障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、生活能力の向上のための援助と就労の機会を提供し、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な援助を行うため、総合支援法に基づく障がい福祉サービスの提供及び障がい者支援に必要な事業を実施する。
施設の概要	障がい者多機能型支援センター（生活介護、就労継続支援B型、日中一時、ふれあいスペース）

2　指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	令和3年4月	募集の方法	公募
評価年度の属する指定期間	令和3年度　～　令和5年度　（3年間　）		
利用料金制	無し		

3　職員の配置

配置人員	常勤	5人
	非常勤	9人

4　施設利用者の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数　（人）		3,587	3,824	4,714
前年度増減比　（%）			6.6%	23.3%

5　業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
利用者数4,000人（生介、B型、日中一時）	利用者数4,237人（生介、B型、日中一時）

6　モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段		件数	件
その他の方式	手段	個別支援計画（面談）	件数	25　件

利用者等からの意見と対応		要望・意見・苦情	対応
指定管理者に対する意見	①	無し	
	②		
	③		
市に対する意見	①	無し	
	②		
	③		

7　地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
ふれあいスペースの利用呼びかけ。区長会引継ぎ会において新旧区長へ取り組みの説明。ふれあいスペースの利用促進。 アルミ缶、エコキャップ回収箱設置により地域住民が訪問。 飛騨市内小中学校へ福祉授業に出向き、ボランティア活動（アルミ缶、エコキャップ、ベルマーク集め）の必要性を伝え、学校での取り組み応援。 下山田地区への広報、区長配布物等をピースの利用者が請負い、月二回配布する際、手紙を添えて配布。エコキャップやベルマーク仕分け作業等を通して障がいのある人の社会貢献活動の推進。	区長会で取り組み説明を行うなど、ふれ合いスペースの利用促進を行い積極的に地域の交流を図っている。また、アルミ缶回収等を通じて市民が気軽にボランティア活動に参加しやすい環境を作り出し、障がい者理解や交流に十分取り組んでいる。

8　指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
ふれあいスペースの利用の利便性を図り、日曜・夜間は鍵を近隣住民に預け休業日であっても利用できるようにした。	施設休館日や夜間でも地域住民が利用できるよう工夫してある。

9　自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
自主事業無し	

10　人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
感染症研修、虐待・権利擁護、各種障がい研修、工賃向上研修、サービス管理者研修	後継者養成及び資格取得のための研修を受講させた。職員全員が受講できる体制づくりやコロナ禍によりオンライン研修ができる環境整備を行った。

11　収支に関する状況（経費の縮減）

（単位:千円）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入		0	23,003	26,001	32,856	
	指定管理料		2,000	2,000	2,000	
	利用料金		0	0	0	
	純売上高		0	0	0	
	その他		21,003	24,001	30,856	
支出		0	25,777	27,602	28,453	
	売上原価		693	888	1,094	
	人件費		19,313	19,601	20,057	
	光熱水道費		1,158	1,371	1,340	
	設備保全費		54	54	54	
	修繕費		29	0	4	
	備品消耗品		211	147	15	
	清掃費		0	0	0	
	その他管理費		1,669	1,198	947	
	運営費事務費		1,764	4,205	4,870	
	その他		886	138	72	
指定管理業務収支		0	△ 2,774	△ 1,601	4,403	
自主事業収支						
全体収支		0	△ 2,774	△ 1,601	4,403	

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

12　収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
利用者が定着するよう丁寧できめ細やかな支援を心掛けた。 新規利用者獲得のため常に相談事業所、特別支援学校との情報交流に努めた。	他の事業所に通所できなくなった障がい者も積極的に受け入れしている。利用者の特性に合わせて支援内容を柔軟に変更。利用者家族の相談にも丁寧に対応され、利用定着に繋げている。

13　経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
節電・節水の取り組みは日々口頭で行っている。 上下水道料については止水栓、水量の調節等を行った。	光熱水費の節約に職員一丸となって取り組まれている。

14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価			評価に対する内容
平等利用の確保(20)	a	(20)		飛騨市唯一の生活介護提供施設であり、その使命を理解され障がい特性から受け入れが難しい利用者も差別することなく受け入れされている。 さらに、併設している就労継続支援B型についても、同様の受入れを行っており、利用者が増えている。
施設の効用の発揮(20)	a	(20)		市内唯一の生活介護を含む「多機能型」施設として求められる役割を確実に果たし、他の施設では受け入れが難しい利用者を積極的に受け入れられ、他の障がい者支援施設では支援できない部分を補うことが出来る施設であることを自覚し、運営を行なっている。 また、就労継続支援B型は、特性を持った軽度の精神障がい者の受入れ先となり、重要な役割を果たしている。
安定した管理能力(20)	b	(15)		利用者支援では、法定基準を十分満たす人員を配置し支援されている。有資格者の支援者育成のための研修への参加も積極的に取り組まれている。
経費の縮減(20)	b	(15)		収支管理も職員全員が理解し、光熱水費等節約に取り組まれている。消耗品の購入も管理者のチェック体制が行き届いている。 一方人件費を抑えている点については、水準がかなり低いと思われるため、利益部分（黒字部分）を給料や一時金等、管理者をはじめ、従業員へ還元することを検討願いたい。
自主事業等及び各課で定める項目等(20)	b	(15)		ふれあいスペースの利用やアルミ缶回収等を活用した市民のボランティア参加を通じ、市民の障がい者理解や地域住民との交流を積極的に進められている。
総合評価	B＋	(85)		利用者も順調に増えており、収益も黒字に転じ順調に運営している。利用者ひとり一人丁寧に対応した成果かと思われる。この調子で運営していただきたい。